

平成29年度

決算審査講評に対する対応調書

佐久広域連合

平成29年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
①	事務執行に当たっては、法令規則を遵守し職員としての初心を忘れず業務執行に努めていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する法令等を遵守し、公務員の使命である「住民の福祉の増進を図ること。」を念頭に、業務に当たってまいります。 ・事務執行につきましては、業務を機能的かつ能率的に処理し、法令規則に則り進めてまいります。 	<p><全 体> 事務局・施設・食肉センター</p> <p>消防</p>
②	心身の健康のため、日々の自己管理に努めていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセラーとの面談を通じてセルフケアを図るとともに、佐久広域連合安全衛生管理体制の中においても、職員の安全確保及び健康の保持増進を図ってまいります。 ・健康管理につきましては、日勤者はもとより、現場出勤する機会の多い当直者についても本部及び各署において自己管理を啓発し、業務に支障のないよう努めてまいります。 	〃
③	一人ひとりが職員としての自覚と責任を持ち、引き続き広域連合の発展と住民福祉の向上に向け、職務に取り組んでいただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民福祉の向上に向け職員個々が公務員として果たすべき義務を改めて認識し、組織市町村との連携・融和を図り、佐久地域の振興・発展のため広域行政を推進してまいります。 ・職員各個が全体の奉仕者としての意識を新たにし、広域連合の災害対応及び住民サービスの向上を図ってまいります。 	〃
④	広域の観光振興として平成29年度より始まったコミュニティFM ラジオ全国ネットのPR 事業は、その成果を検証し施策の企画に活用されたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・制作しているラジオ番組「軽井沢ドライブガール」の可聴人口は2,000万人以上ではありますが、聴取率(ラジオ番組がどのくらい聞かれているかを示す割合)の測定が困難であります。そのため、番組公式フェイスブックを立上げ、放送内容を写真と記事で紹介することで、その記事のリーチ数(投稿を見た人の数)により、事業効果を間接的に測定しています。今後はこうしたSNSを効果的に活用することで、事業効果を検証し、より訴求効果の高い番組制作に取り組むとともに、今後の広域観光事業につなげていきます。 	<p><事務局> 事務局庶務課</p>
⑤	介護認定・障害支援区分認定については、引き続き公平・公正と可能な限りスピーディーな審査に努めていただき、制度利用者の生活に支障のないよう図られたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度実施した要介護認定適正化事業の結果を基に、継続的に市町村認定調査員研修等を行うと共に、国の業務分析データを活用しながら、認定調査員テキストの定義を再確認することになります。 また、市町村相互の調査方法に関する情報交換の機会を設けながら、審査期間短縮に努めます。 	<p><事務局> 事務局福祉課</p>

平成29年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
⑥	<p>成年後見・障害者相談支援センター事業は、市町村との連携を深め、制度の活用と更なる啓発に努めていただきたい。</p>	<p>・成年後見支援センター事業について 市町村との連携を図るため、当支援センター運営協議会の構成団体に、権利擁護に関する有識者等のほか、11市町村の所管課長が参画する組織構成に変更しました。市町村及び関係機関それぞれの課題共有を図りながら、制度の普及及び活用に繋げるよう取り組むものとしします。</p> <p>・障害者相談支援センター事業について 今年度を初年度とした、第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画がスタートしました。組織市町村と当支援センターが連携しながら、福祉サービス等の情報提供を行うと共に、各計画の推進を図ることにします。</p>	<p><事務局> 成年後見支援センター</p> <p><事務局> 障害者相談支援センター</p>
⑦	<p>安全管理に十分配慮し、地道な訓練を怠ることなく地域住民の安心安全に万全を期すとともに、平成30年度発足した指揮隊の指示のもとに迅速な活動により被害の軽減を図っていただきたい。</p>	<p>・訓練につきましては、本部主導及び各署において計画的に各種訓練を立案し、職員の安全管理を念頭に置きながら、多種多様化する災害に対応すべく実施してまいります。指揮隊につきましては、今年度4月より活動を開始し、日々の訓練はもとより、高崎市等広域消防局や東京消防庁、さいたま市消防局での研修を実施するなど、その運用方法の改善・向上を常に図り、現場活動における更なる消防力の強化を目指しております。</p>	<p><消防> 消防本部・各消防署</p>
⑧	<p>入所者の重度化並びに高齢化、介護報酬の改定や職員確保の困難など施設運営は厳しい状況にあるが、入所者が安心して過ごせるために、引き続き職務に当たっていただきたい。</p>	<p>・引き続き職員確保及び稼働率の向上に努め、入所者が安心・安全に過ごせるよう職員へ周知徹底をします。</p> <p>・入所者の重度化並びに高齢化につきましては、適切な施設への施設替え等、福祉事務所とより一層の連携を図ってまいります。職員確保につきましては、入所人員とのバランスをとりながら、入所者が安心して過ごせる施設運営に努めてまいります。</p>	<p><施設> 特別養護老人ホーム豊昇園 特別養護老人ホーム塩名田苑</p> <p><施設> 救護施設清和寮</p>
⑨	<p>畜産関係者の協力を得ながら更なる荷受数の増加に向け努めていただきたい。</p>	<p>・平成30年度において、主要荷受人である㈱ニチレイフレッシュの協力により、県外からの豚の搬入が増え、前年に比べ年間4,000頭から5,000頭の処理頭数の増加が見込まれております。 ㈱ニチレイフレッシュと連携し、更なる増頭に努めてまいります。</p>	<p><食肉流通センター> 食肉流通センター</p>